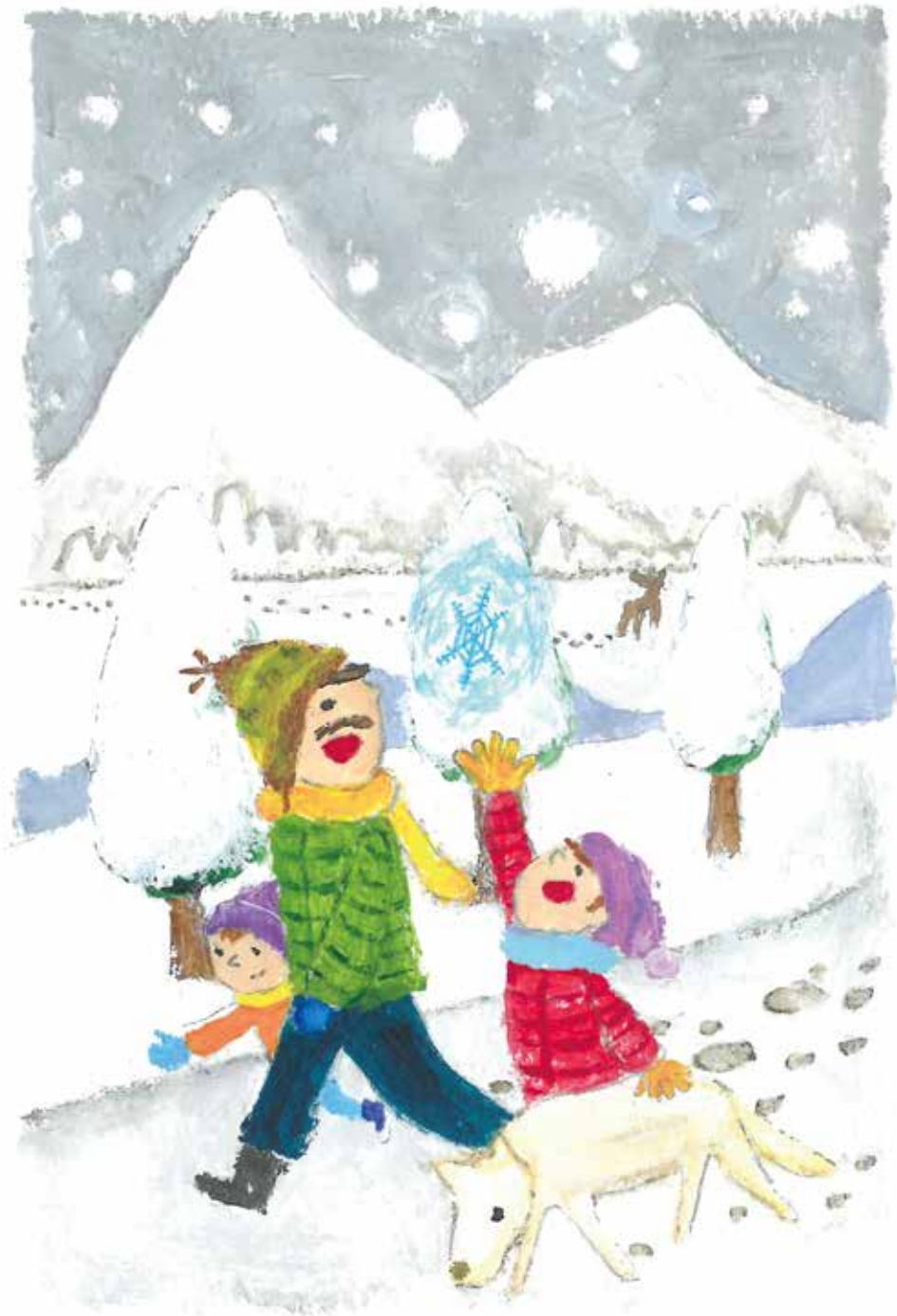




# る

## ルンルンルン

### 子どもは風の子 元気な子



寒い季節、小学校の頃で思い出すのはストーブ。ストーブさえなかった時代もあれば、石炭やガスで燃える丸いストーブの時代、ファンヒーターの時代、エアコンの時代など、「寒いときの暖房って何だった？」という会話だけで年齢の見当がつくほど、時代によって暖房器具は変化してきました。

でも、子ども達の外遊びはそこまでの変化はなく、鬼ごっこやおしくらまんじゅうのように、走ったり身体を寄せ合ったりして、寒さを味方につけて楽しんできました。

こんな子ども遊びが大きく変化したのは、「コロナ禍」という時代。人と人がふれあう遊び(おしくらまんじゅう等)

はできなくなって消えてしまいました。手をつないでの遊び、ふれあう遊び、大きな声で笑いながらする遊びが許されていたからこそ、寒い冬でも楽しく乗り切れたのでしょうか。

「今」は、散歩やマラソンですら、マスクをする時代。今後、このメッセージを読んでもくださる方が「そんなこともあったよね」と笑って語れる時代になってほしいものです。昔のように子ども達が身体を寄せ合って遊べるようになることを願い、みんなで豊かな未来を思い描きましょう。